

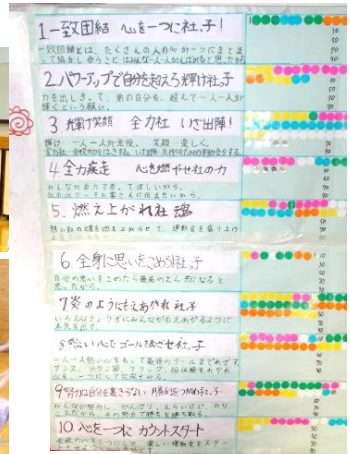


運動会スローガン 「輝け笑顔 全力社 いざ出陣！」

さあ、運動会の週となりました。先週から校庭での練習も入ってきました。気持ちのこもった動きや束になった声。子ども達が仲間とともに高みを目指して努力している姿は、見ていてとてもうれしくなります。思わず笑顔になります。元気づけられます。

20日(木)の児童朝会では、執行部より運動会スローガンが発表されました。公募期間に全校から39の案が集まり、その中から最終候補案として執行部が選んだ10案を児童玄関廊下に提示。全校児童の投票の結果、決定したのが「輝け笑顔 全力社 いざ出陣！」です。発案者は、6年の西村優汰さん、奥山蒼介さん、川西楓華さん、新垣愛華さん。児童朝会ではこの4人も紹介され、全校児童が拍手を贈りました。

今年の運動会の種目は、準備体操(ラジオ体操)、短距離走、なかよし班対抗種目、6年親子種目、そして集団演技(低学年、中学年、高学年)です。午前中だけの日程ですが、子ども達が躍動する充実した3時間になると思います。心をそらえて一生懸命頑張る社っ子のかっこいい姿をぜひご覧ください。ご来校をお待ちしています。



8時10分には集合が完了し、児童朝会が開会。スローガン発表の他にも、今月の歌の合唱や運動委員会による「ラジオ体操練習」も行われました。環境委員長の足立陸斗さんは「昼休憩石拾いボランティア」への参加のお礼を伝えました。この朝会の感想発表の場面では、挙手をした児童の中から、3人が発表しました。

およそ20分の中身の濃い児童朝会。しっかりと準備して見事に進行した執行部員、手本となる体操を披露した運動委員、そして朝早くからきちんと活動した全校児童たち。その頑張りを目にして、とてもすがすがしい気持ちになりました。こんな朝会ができる社小で働けることをありがたく思いました。



低学年の集団演技は「ぼんぼん」を持ってはつらつとダンスします。曲は「Mela!」。日本テレビの全国高校生ダンス部応援企画「ダンス ONE プロジェクト」に使われた曲です。練習を眺めているだけで元気が出ます。



中学年の集団演技は伝統の「社ソーラン」。練習では、「どっこいしょどっこいしょ」「そーらんそーらん」の大きな声が校庭に響きます。動きに切れと幅が出てきて、今年も見応えのある演技が完成しつつあります。



高学年が昨年度初挑戦したフラッグの演技。今年は体操(一人技)を加えてさらにバージョンアップした集団演技に取り組んでいます。静と動、力強さ、美しさ。今年も感動的なパフォーマンスを披露します。乞うご期待。

今年も昼休憩に素敵な光景が



環境委員会の呼びかけで、昼休憩に校庭の石拾いが行われました。遊ぶのを我慢して参加したたくさんの方のボランティアたち。私もデジカメを片手に参加しましたが、みんながよい表情をしていました。

「舞台づくりを自分達の手で」。児童会のこの取り組みも、社小らしさの一つだと感じます。

23(日) 愛校作業 お疲れ様でした



参加していただいた90名の保護者の皆様、早朝より大変お世話になりました。除草作業や窓の汚れ落としなど、校舎まわりをきれいにしてくださり、大変助かりました。おかげさまで、すっきりとした環境になりました。ありがとうございました。

全校の力で プールがきれいになりました



18日(火)、プール掃除を行いました。1,2校時に2,4年生、3,4校時に3,5年生、5,6校時に1,6年生と、時間帯を分けて2学年ずつ取り組みました。(去年は1学年ずつ作業し、二日かかりで行いましたが、今年は天候の関係で、この一日で実施しました。)



※プール入り口の上履きの並べ方も見事です

昨年初めてプール掃除の様子を目にしたときも「社の子はこんなにもよく頑張るんだ」と感心しましたが、今年の取り組みも素晴らしかったです。たわしやデッキブラシを手に、一生懸命汚れを落とす姿や、バケツに水を汲んで何往復も運ぶ姿は、とても立派でした。生き生きとした表情や笑顔がたくさん見られたこともうれしく感じます。まわりの人と協力しながら、明るくさわやかに作業する。プールもきれいになりますが、同時に子ども達の心もきれいになっていっていると私は思っています。作業を終えて校舎に移動していたある1年生に「ごろうさんだったなあ」と声をかけました。するとその子は「楽しかったです」と笑顔で答えました。やり切った感が伝わってくる素敵な一言でした。私も笑顔になりました。(プール使用開始予定日は6月1日です。)



交通安全について 各学級で話をしました

倉吉市教育委員会より次のような内容の文書が届きました。

「本年度に入ってから児童生徒の交通事故が6件発生しています。そのうち、緊急搬送が3件ありました。また、児童生徒が大丈夫と判断し、事故が起こったことを警察・保護者・学校に知らせず、事故の相手が現場を離れてしまったケースも2件ありました。」

つきましては、交通安全指導の徹底をお願いするとともに事故に遭った場合は必ず近くの大人に知らせること、保護者や学校に知らせることを児童生徒に周知してください。」

幸いその6件の交通事故はいずれも大事には至らなかったようですが、4月からの短期間にこれだけの件数の事故が発生していることに私は驚きました。交通安全については、子ども達に繰り返し話をしていく必要があるとあらためて感じました。

先週各学級で指導したおもな内容は下記のとおりです。ご家庭でもお子様とお話ししていただけるとありがたいです。

- 事故の大小、けがの有無にかかわらず、必ず近にいる人に頼んで、保護者・学校に連絡をすること。
- 道路を横断する際は、左右をよく見て、車が通らないこと、または車が完全に止まったことを確認してから渡ること。
- 自転車を走行中、側道から大きな道に出る際は、一旦停止し左右をよく見て、車が通らないこと、または車が完全に止まったことを確認してから走行すること。

ここがポイント

道路を横断する時に必ず心掛けること

JA共済 交通安全! 百科事典

より

1

止まる



まずは「止まる」。急いでいても、飛び出さず必ず一度止まりましょう。

2

見る



そして「見る」。車などがきていないか見て、周囲の安全を確認します。

まつ



車がきていたら「まつ」。車が通過しても、他の車がきていないか確認してから渡ります。